

セッション3

男女共同参画の視点から 防災の取組を実践する (集合研修)

本セッションの目標と学習内容

目標

- あなたの部署における具体的な取組を見つけ出す
- ガイドラインを活用して取組を検討する

学習内容

- ワーク1 災害発生時の部署の業務から、男女共同参画の視点で検討したい業務を選び、目指したいゴールを設定する
- ワーク2 災害時に具体的に取り組むことを検討する
- ワーク3 平常時にしておくことを検討する
- 共有 全体でワークの結果を共有する

セッション1 「防災になぜ男女共同参画の視点が必要なのか」 振り返り

<取組の進め方>

あらゆる防災施策に男女共同参画の視点を入れる

災害時／平常時

意思決定／現場に
女性が
参画する

男女共同参画部局・
男女共同参画センターと
連携する

災害時／平常時

女性リーダーを
育成する
男性への**理解促進**
を図る

平常時

学習の進め方

- セッション1、2で学習したことを基に、自組織の業務にあてはめ、ワークに取り組みながら進めていきます
- ワークは一般的なことではなく、自分が所属する組織をイメージすることが大切です
- 本日のワークで具体的な取組の検討方法を学び、自組織に戻ってから、更に詳細に検討していただくことを目的としています
- ガイドラインを活用して検討を行うため、ガイドラインをご用意ください



自己紹介と役割分担（5分）

- グループで自己紹介をしましょう
 - ・ 所属
 - ・ 名前
 - ・ あなたのまちの好きなところ
- リーダー、書記、発表者を決めてください

【ワーク1】

災害発生時の部署の業務から
検討テーマを選び、
目指すべきゴールを決めてください

災害時の自治体の対応業務

- 災害時、自治体は「災害対策本部」を設置し、全ての部署が災害対応業務に当たることになる
- 幹部職員は、「災害対策本部会議」で、災害対応の進捗状況や課題について報告し、今後の方針を決定する

全ての部署が、災害対応の当事者である

<発災時に地方公共団体が実施すべき17の対策項目>

- 災害対策本部の組織・運営
- 通信の確保
- 被災情報の収集
- 災害情報の伝達
- 応援の受入
- 広報活動
- 救助・救急活動
- 避難所等、被災者の生活対策
- 特別な配慮が必要な人への対応
- 物資等の輸送、供給対策
- ボランティアとの協働活動
- 公共インフラ被害の応急処置等
- 建物、宅地等の応急危険度判定
- 被害認定調査、罹災証明の発行
- 仮設住宅
- 生活再建支援
- 廃棄物処理

①ー1 災害時の業務「洗い出し」【個人検討】(3分)

災害が起きたときに**あなたの部署(課等)で行う業務**を、段階ごとに黄色の付せん紙に書き出しましょう。

- 付箋紙1枚に1業務
- 出来るだけ大きな文字で記入

災害対策
本部の
設置

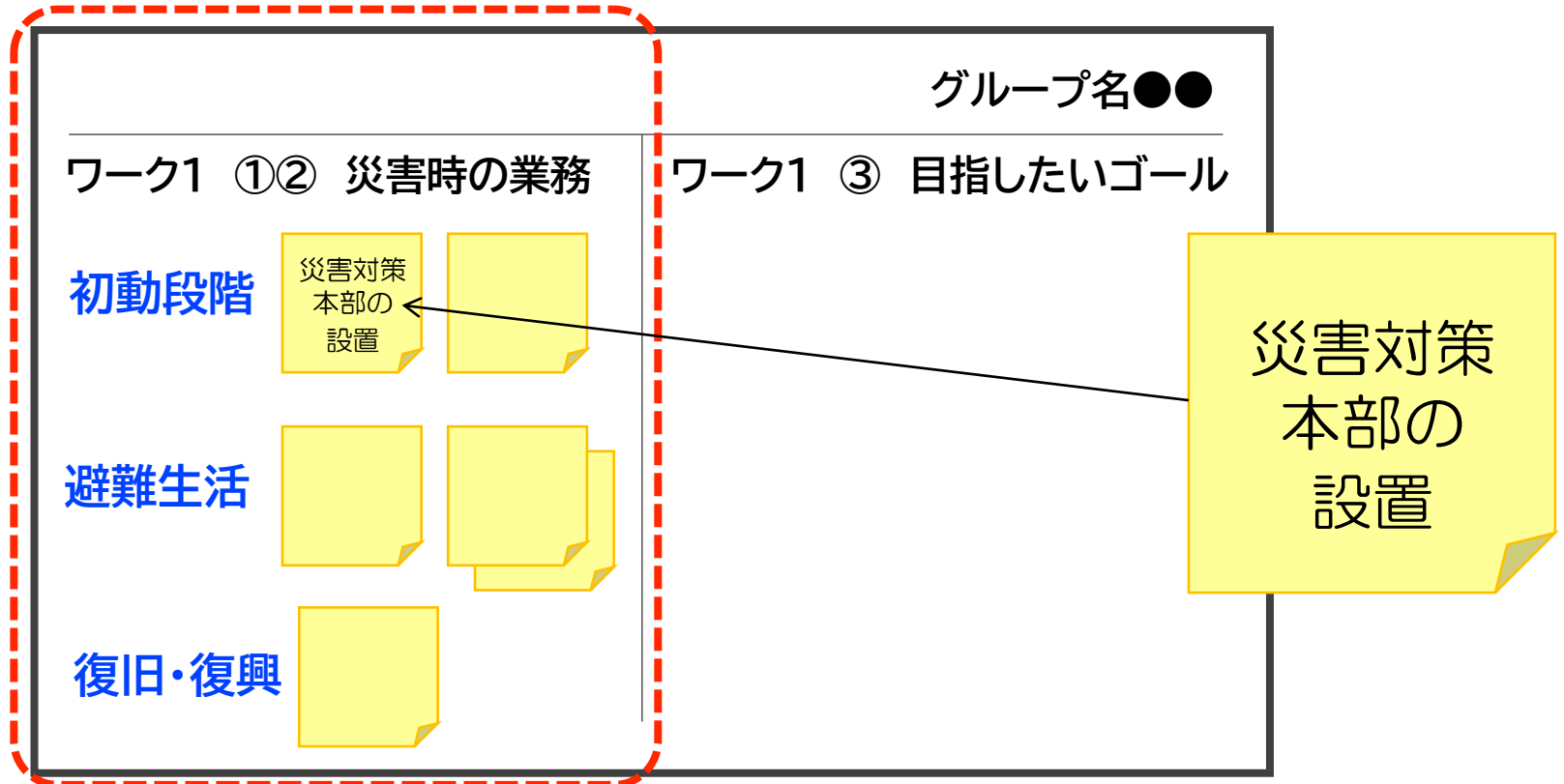
例) 防災・危機管理担当部局

段階	あなたの部署で行う業務
初動段階	<ul style="list-style-type: none">・ 災害対策本部の設置、体制確立・ 被害情報の収集・集約・ 避難所の開設決定・ 救助・ 行方不明者搜索・ 孤立地区への支援
避難生活	<ul style="list-style-type: none">・ 対策実施状況の把握・調整・ 応援要請、受入・ 関係機関との連絡調整・ 個別事案への対応
復旧・復興	<ul style="list-style-type: none">・ 各種施設・設備等の復旧状況の把握・調整

①ー2 災害時の業務 「業務の整理」【グループ検討】(5分)

記入した付箋紙を出し合い、模造紙を使って災害の段階ごとに整理しましょう。

- 同じ意見は重ねて整理



模造紙(1枚目)の使用イメージ

②業務の選定【グループ検討】(1分)

①で書き出した業務の中から、より男女共同参画の視点からの取組を検討したい業務を選びましょう。

- ①で書き出した業務の中から1つ選んでください。

グループ名●●

ワーク1 ①② 災害時の業務	ワーク1 ③ 目指したいゴール
初動段階 <div style="display: inline-block; border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-left: 10px;"> 災害対策本部の設置 </div>	
避難生活 <div style="display: inline-block; margin-left: 10px;"> </div>	
復旧・復興 <div style="display: inline-block; margin-left: 10px;"> </div>	

模造紙(1枚目)の使用イメージ

例) 教育関係部局

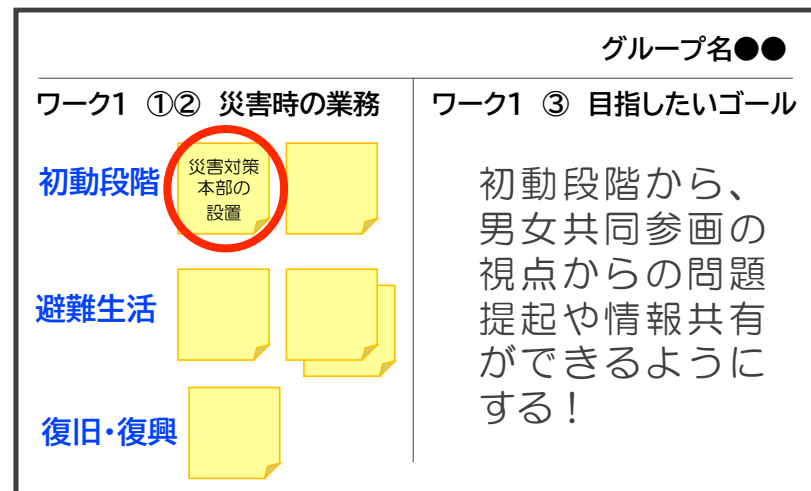
段階	男女共同参画の視点で取組を検討したい業務
避難生活	・被災した児童や生徒の支援

例) まちづくり関係部局

段階	男女共同参画の視点で取組を検討したい業務
復旧・復興段階	・仮設住宅の設計・ニーズ把握

③目指したいゴール【グループ検討】(5分)

②で選んだ業務について、男女共同参画の視点を入れることで「**目指したいゴール(どういった状態にしたいか)**」を話し合い、結果を模造紙の右側に大きく書き出しましょう。



模造紙(1枚目)の使用イメージ

例) 防災・危機管理担当部局の場合

②で選んだ業務に男女共同参画の視点を入れることで
目指したいゴールは

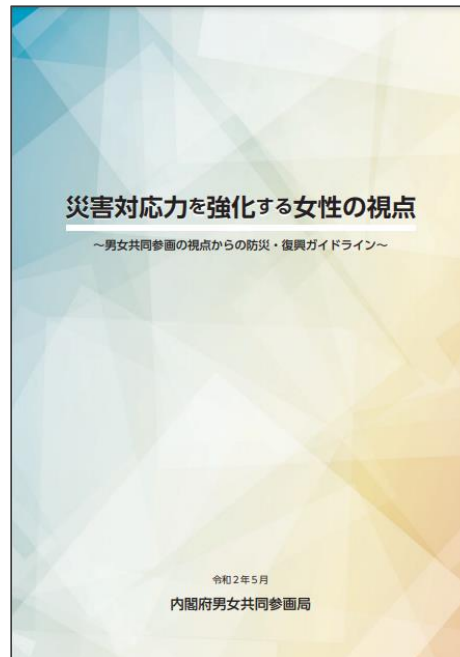
初動段階から、男女共同参画の視点からの問題提起や情報共有ができるようにする

例) 福祉関係部局の場合

②で選んだ業務に男女共同参画の視点を入れることで
目指したいゴールは

避難生活における要配慮者支援で、女性と男性の異なるニーズに対応できるようにする

ガイドラインを活用して 具体的に取組を検討してみましよう



ガイドラインの活用方法

第1部 基本的な考え方

背景や解説、第2部、第3部との関連箇所が書いてある

課題の背景や骨格となる考え方を確認したい場合は 第1部へ

第2部 段階ごとに取り組むべき事項

取り組むべき主体、ポイント、解説、事例が書いてある

具体的な取組のポイントや参考となる事例が知りたい場合は 第2部へ

第3部 便利帳

チェックリストや掲示物のフォーマット、参考となる文書が書いてある

現場で使えるツールやお役立ち情報が知りたい場合は 第3部へ

【ワーク2】

災害時に具体的に取ることを
検討しましょう

実現するための災害時の取組【グループ検討】(15分)

実現するためには、「だれが」「いつ」「何をどうするか」を、検討します。

検討する中で「気づいたこと」があれば、メモしましょう。

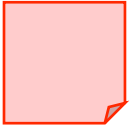
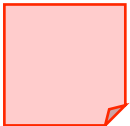





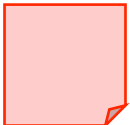

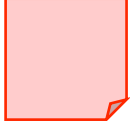
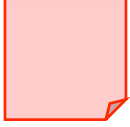
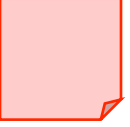

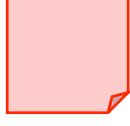
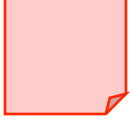
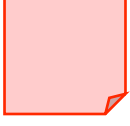
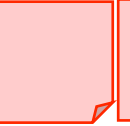

- 工夫・配慮したいこと、連携するといい人や団体、困ること等
- ガイドラインのポイントや事例を参考に考えてみてください

例) 福祉関係部局の場合

その実現のために災害時に取り組むこと			
だれが	いつ	取組内容 (何を どうする)	気づいたこと
避難所担当者が	避難者受入時に	要配慮者の名簿を作成する	性別、要望欄
避難所運営者が	避難所開設時に	要配慮者の専用スペースを確保する	女性専用スペースが必要?
福祉課が	避難生活期に	本人や家族のニーズを聞き取る	男女両方の職員が聞き取りを行う
介護・介助者が	避難生活期に	避難所での介護・介助を実施する	介護・介助は同性がすべき?

- 「目指したいゴール」を実現するための「災害時の取組」を赤色の付箋紙に書き出して、模造紙に整理してください。
- 模造紙を横置きにし、下図のように左半分を使って整理してください。
- 模造紙が足りなくなったら追加してください。
- 検討時間:15分

模造紙(2枚目)の使用イメージ

ワーク2 災害時の取組				ワーク3 平常時の取組	グループ名●●
だれが	いつ	取組内容		気づいたこと	
					
					
					
					

【ワーク3】

取組を実施するために
平常時にしておくことを検討しましょう

災害時に実現するための平常時の取組（15分）

【ワーク2】で考えたそれぞれの取組を災害時に実施するために、平常時に何をすべきかを検討します。

「だれが」「いつ」「何をどうするか」「だれと連携するとよいか」について、具体的に検討しましょう。

※必ず自分が(メンバーの一人ひとりが)やることを検討してください！

※ワーク2でメモした「気づいたこと」も手掛かりになります。

※次ページの「平常時の備え」のチェック項目を参考にしてください。

例) 男女共同参画担当部局

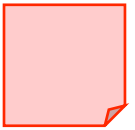
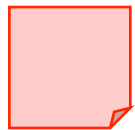
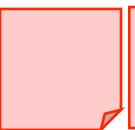






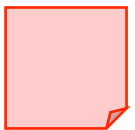

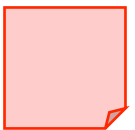






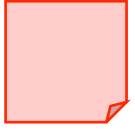
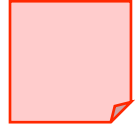
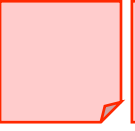
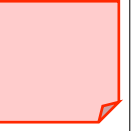





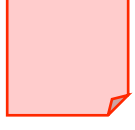
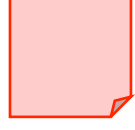
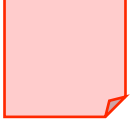
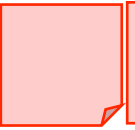
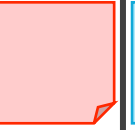





その実現のために平常時に取り組むこと			
だれが	いつ	取組内容（何をどうする）	連携先
自分が	今週中に	この研修で学んだことを組織内で共有する	課長
啓発係が	年度内に	防災課と合同で男女共同参画の視点からの防災についての職員向け研修を実施する	防災課（訓練担当）
●●係が	年度内に	連携したい部局や他団体をリストアップする	
●●係が	来年度に	連携したい部局と災害時の対応について協議	リストアップした部局

<まず始めよう「平常時の取組」チェックリスト>

- 防災・危機管理担当部局には、女性職員が十分数いますか？
- 庁内職員に対して、ガイドラインを踏まえた防災研修・勉強会等を実施していますか？
- 防災研修・訓練は、防災・危機管理担当部局と男女共同参画部局・男女共同参画センターとが連携して実施していますか？
- 地方防災会議の女性委員の割合は3割以上を達成していますか？
- 地域防災計画に、男女共同参画担当部局やセンターの役割を位置づけていますか？
- 備蓄物資の準備に「備蓄チェックシート」を活用していますか？女性職員は参加していますか？
- 物資を供給するために協定締結や住民備蓄に取り組んでいますか？
- 自主防災組織における女性参画を進めていますか？
- 自治会長などの地域の有力者や各組織の長である男性に対して、女性の視点に立った防災について理解の促進を図っていますか？
- 女性消防団、婦人防火クラブ等の地域に根ざした組織や団体の長となる女性リーダーの育成を行っていますか？
- 女性リーダー同士の連携や情報共有の場を提供していますか？

- 平常時に何をすべきかをグループで検討し、青色の付箋紙に書き出してください。
- 模造紙の右半分を使って整理してください。
- 模造紙が足りなくなったら追加してください。
- 検討時間:15分

模造紙(2枚目)の使用イメージ

ワーク2 災害時の取組				ワーク3 平常時の取組				グループ名●●	
だれが	いつ	取組内容		気づいたこと	だれが	いつ	取組内容		連携先
					自分が				
									
									
									

【共有】（全体で20分）

検討した内容を**全体で共有**しましょう

1グループ3分程度

自部署(課等)に戻り、部署のメンバーに、本日検討した取組についてプレゼンするイメージで発表してください！

- 自部署(課等)の分野
- 検討事項「選んだ業務」の「目指したいゴールは何か」
- 災害時の取組
- 平常時の取組 **(やるとどういった効果があるのかも)**

まとめ

- 本日のワークで行った具体的な取組の検討方法を参考に、**自組織に戻って上司や同僚に今日の研修内容を共有し、更に詳細に検討していただくこと**を期待しています
- 大事な取組は**女性の参画、連携、育成・理解促進**です
- 検討していく中で迷ったら
 - **「ガイドライン」**を開いてみてください
 - **「平常時の取組チェックリスト」**も活用して、全体をチェックしましょう